



▲昨年の様子 (左：関 右：横川)



問 28年度の防災訓練はどこで行うのか。規模は。
答 干蒲、湯原地区を対象に避難訓練や火災消火訓練、救護訓練等を行う。

問 20歳代の人間ドックの利用者数は。
答 人間ドックは62%。他の自治体と比べるとかなり高い数値となっている。

問 お試し住宅は利用者に何日単位で貸し出すのか。
答 一ヶ月くらいの短期から中期間。

問 4月から電力自由化となり町にも電力取引先の選択肢が増えるが、町はこれをどのように考えているか。
答 安定供給を第一に考えながら、どういった方策がいいのか検討していく。

問 次世代リーダー養成事業とはどのような内容か。
答 定住促進のための助成を行うほか、セミナーを開催して担い手づくりの研修を行う。



問 ワンコイン事業補助金とは。
答 介護保険の制度が27年度から変わり、今までヘルパーしかサービスを提供できなかったが、シルバー人材センターや老人クラブでもサービスを提供できるようになる。本町ではシルバー人材センターを活用し、電球の交換やゴミ出しなどの軽作業を100円、除排雪など30分程度の作業を500円で提供できよう考えている。

問 国民健康保険料の税額が年々膨らんでいる。今後も増額となっていくのか。
答 将来的な見通しはまだ立っていないが、なるべく負担にならないように基金などを活用していきたい。

問 各学校の音響設備は十分に設置されているのか。
答 小学校は設備が整っているが、中学校にも音響装置はあるが、一部不足していた設備を今回追加する。

問 ミニスーパーに設置予定のガソリンスタンドは、道の駅へ設置した方が適しているのではないか。
答 ミニスーパーを核とした複合施設を作るのが根本的な目的であるため、他の施設も含め、ガソリンスタンドもミニスーパーのエリアに設置したい。



▲やまびこ吊り橋



▲長老湖

問 南蔵王エリア整備実施計画は28年度どの辺まで進める予定か。
答 27年度にとりまとめた基本構想に基づき、今後の整備について具体的な設計を行っていく。

予算特別委員長報告

去る3月8日の本会議において、議員全員をもって構成する予算特別委員会が設置され、平成28年度七ヶ宿町一般会計予算外8特別会計予算の審査を付託されました。

本委員会は、3月10日から3月14日までの実質2日にわたり委員会を開催し、執行部からは、町長以下副町長、会計管理者及び各課長並びに課長補佐等の出席を求め、予算の全般的な事項及び内容等について、詳細に審査を行いました。

平成28年度予算編成方針は「町民が安心して暮らせる町づくり」を基本理念として、生活弱者にやさしく、また女性の立場で町づくりへの提言や、人口減少克服のため、若者定住促進と地方創生に取り組み、地方が成長する元気を取り戻す明確な目的に対して、確実な事業の推進を求める意見がありました。

特に、28年度予算の特長として地方創生関連事業であるミニスーパーを核とした複合施設の整備は、生活の利便性向上と、若者定住促進を図るために建設を計画しているもので、建設予定地とする場所の選定や交通の安全性、今後必要とされる多額の事業費についても長時間の慎重審議の結果、平成28年度一般会計並びに8特別会計予算については、いずれも妥当なものと認め、原案通り可決することに決定いたしました。

すべての施策は町民の幸福のために念頭に事業の執行に当たられることを期待して報告いたします。

委員長 梅津政志

問 パークゴルフのコース内に作業道や東屋があり、パークゴルフ目的以外の利用も活用しているが、安全面に問題は無いのか。
答 パークゴルフ場利用者として以外の利用者が共存できるように施設配置を行い、お互いが思いやりを持って利用してもらえよう周知していきたい。



問 生ゴミ処理機購入にはいくらまで補助が出るのか。
答 補助は購入額の1/2で最大3万円。